

2023 Japan National Team Report
2023 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP

2024 年 1 月 13 日
コーチ 飯島 洋一

2023 年 10 月 29 日より 11 月 5 日までアラブ首長国連邦のアブダビにて 2023 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP が開催されました。日本からは 2 月蒲郡の NT 選考レースで選ばれた 10 名の選手が、寒くなり始めた日本を抜け出し暑いアブダビにてレースに参加しました。2 月の代表決定後は中田父、飯島父を中心に兵庫オープン、NT 合宿、江の島 OW、江の島夏合宿、チームレースクリニック、チームレース全日本、10 月江の島合宿と幾度となる合宿を繰り返しての大会参加であった。また、渡航準備、気象講習会(シーブリーズについて)、気象講習会(アブダビの風)等 Web での講習会も開催して 11 月の大会に臨んだ。今回、コーチを引き受けたからにはこの準備の時間を有意義に使い、今後 OP を卒業して他の船に乗った時に役に立つようにセーリングの基本、セーリングの楽しさを学んでもらうようにコーチングを心がけた。そして遠征中は今後、海外遠征に参加した際に役立つようなコンディショニング等を学んでもらおうと考えていた。

現地気温は 30 度を超え暑い。日本の真夏のように滝のように汗が出る状況であった。水分補給、日陰に入る、スポーツドリンクを飲むなど熱中症対策が必要であった。砂漠といっても現地入り前には大雨が降ったようで、レース中も嵐が来る時があるから天気予報はきちんとチェックしてほしいとアナウンスがあったが大会期間中雨は降らなかった。午前中は陸風、気温の上昇とともにシーブリーズが入る典型的な海風コンディションが多かった。午後から吹くシーブリーズは吹き上がり、10 Knot 程度。前評判では潮はないとのことであったが、レース中は最大で 40m/min の潮が流れることもあった。

弱めの安定したシーブリーズあり、弱めのシーブリーズから安定したシーブリーズへの移行のコンディションあり、陸風あり、潮が強い日ありと毎日様々なコンディションでレースが行われたのは選手達には非常に良い経験になったと思う。

チームレースについて

どのように行いか状況を事前には全く出さず直前に SI を出し、当日にエントリーを締め切るという普通では考えられない方法でレースを実施した。初めての OP のチームレース帯同ということで非常に驚いた。今後、帯同するスタッフ陣はチームレースのエントリーや SI を出すタイミング等については十分に注意してほしい。

海外選手について

海外の選手は思っていたよりも小柄、細身の選手が多い。50kg を超える選手はほとんどいないのではないかと想像できる。今回のように 10 Knot 程度の風では 50kg を超える選手は全く歯が立たない。IODA のレース指針では 25 Knot 以上のレースではレースをしないとあった。日本の選考レースではサバイバルコンディションでレースを行い選んでしまう。強風で走れる選手を育てたいのはわかるが、世界選手権で行われない風域でレースを実施すると重量級の選手が代表選手になってしまう。重量級の選手を海外に送っても選手の今後のためにならないため、選考レースは IODA のレース指針に従って行いきちんと OP にあった体型の選手を選考するべきであると考え。そして大きな選手は ILCA4 や他の艇種でどんどん世界に

チャレンジをするべきである。

OP 海外遠征について

OP に関わって感じることは、父兄が OP で成績を残すことにこだわりすぎていることである。特にこのような海外遠征は「成績を残すため」、ではなく「今後のセーリングにつなげることができるか？」を重視して遠征を実施すべきである。経験のある人材をコーチや国代表にして、ただレースに出てくるのではなく準備、現地気象、現地(海外)での生活の仕方、プロテスト、閉会式、各国の選手との対応等を経験者から聞く「学び」の場にすることを強く勧める。今までのようにマストレーキ、セールメーカー等の道具や OP 特有のセーリングスタイルにこだわらず、もっと自分の感覚でセーリングできる選手が育つようにしてほしい。